

社会福祉法人下府中保育園 28年度事業計画

はじめに

今年度は、5人の新人職員を迎えます。そのため職員の育成に力を入れ、園内研修・園外研修を充実させて職員の質の向上を図り、子どもの成長発達に寄与していきます。

○子どもたちが自分の気持ちをいっぱいに出して仲間と楽しく過ごせるように、しっかりと子どもの気持ちを受け止め、寄り添い、環境を整え活動を支えています。

○保護者がより一層安心して働けるように細やかな心配りを欠かさず、又、子どもたちの楽しく過ごしている状況が保護者に伝えることを充実させます。

○配慮児に対しましては、通院施設や療育センターなど医療機関との連携を築き、配慮児がクラスで輝くようにします。

○延長保育の充実（補食、保育内容）と保護者の最大の悩みである病気時の保育のあり方を検討します。

○幼小連携園として下府中小学校との交流、又、中・高校生の職場体験の受け入れも積極的に行います。

○今後の保育の動向を職員、保護者に速やかに伝え、共に知恵を出し合い、地域の核としての保育園の役割を考えていきます。

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考	
たまご	0歳	3	6		
ひよこ	1歳	4	16	1	
はな	2歳	3	15	}	
ほし	3歳	2	19		1
つき	4歳	2	18		
ゆき	5歳	2	18	}	
合 計			92		

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 293日
25	23	26	25	26	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	23	23	23	26	

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導
- [5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	(年2回)
歯科健診	全園児(年2回)

エ 保育指針

情緒の安定と発達をはかり、豊かな情操を養い、良く考え判断し、創造性豊かな、心身共に健康な子どもを育てる。

オ 各組の保育目標

ゆき組(5歳児)の年間目標

自然環境に働きかけ、よく見たり触れたりためしたりして遊ぶ。
友達の良さを認め合いながら個々の力を十分発揮する。

つき組(4歳児)の年間目標

いろいろな活動を通して友達や保育者との関わりを深めて楽しく遊ぶ。
生活の決まりを守り、良い生活習慣を身につける。

ほし組(3歳児)の年間目標

基本的な生活習慣を身につけ、何でも自分で行おうとする。
いろいろな行事を体験し、園生活の楽しさを知る。

はな組(2歳児)の年間目標

基本的習慣を身につける。
いろいろな経験を通して、いろいろな言葉を習得し、言葉で表現しようとする。
遊具や運動用具を使ったり、いろいろな運動遊びを通して、運動機能の発達をはかる。

ひよこ組(1歳児)の年間目標

自分でしようとする気持ちを大切にしながら、基本的な生活習慣を身につける。
保育者に親しみ、感情を素直に交流して機嫌良く過ごす。また、友達にも関心を示す。

たまご組（0歳児）の年間目標

保育者との親密な関わりを基礎に安定した人間関係が芽生える。

活動しやすい、くつろいだ環境の中で歩行を目指し、いろいろな運動を楽しむ。
言葉以前の様々なサインをしっかり受け止めることができ、自己表現が活発になる。

カ 主な行事予定	4月	新入園児歓迎会
	5月	こどもの日、母の日、遠足
	6月	親子リズム教室、年長児親子給食を楽しむ会
	7月	プール開き
	8月	
	9月	運動会
	10月	芋掘り遠足
	11月	
	12月	おゆうぎ会、クリスマスお楽しみ会
	1月	子ども新年会
	2月	豆まき集会、卒園児お別れ遠足
	3月	お別れ会、卒園式
	月例行事	誕生会

キ 食事

[1] 目標『しっかり食べる子』に育てる。

配慮事項・薄味、和風献立に心がける。

- ・旬の素材を使った献立作りを心がける。
- ・見た目においしく、食べておいしい食事づくりを心がける。
- ・保護者との連携を密にする。

[2] 食育

毎月ー予定献立表の配布（幼児食・アレルギー幼児食・離乳食・延長補食）をする。

掲示板ー食に関わる情報を提供する。

食事だよりー下府中保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、年4回発行する。

食を考えるー給食会議にて子どもの食事の状況、離乳食の移行時期、献立について、園長・主任・副主任・調理員が話し合う。また、月2回の給食会議にて、献立についての感想や反省、改善などや提供された食事への感想・反省、改善案などを出し合い、よりおいしい食事作りへ取り組んでいきたい。また、食育を含め食全般についての勉強、話し合いの場として行きたい。

展示食ー玄関に、その日の給食の見本を展示する。

[3] 衛生管理

○衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認している。

○調理人の細菌検査（毎月1回） 調理室・乳児調理室の掃除、ワゴン清掃（毎日）、冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管原材料・調理済み食品の保存（2週間）をしていく。

[4] 栄養給与目標（給食・おやつでとりたい栄養量の目安）

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン A μ g	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	20	15	212	2.6	125	0.25	0.28	20
3歳以上児	596	23.9	17.9	248	2.3	135	0.31	0.36	20

[5] 離乳食に関して

「離乳の基本」が改定され、個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。1歳児の食事に関しては、離乳食（完了食）後、間もないので7か月までは、そのまま離乳食（完了食）を準備し、さらに充実させていく。アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、必要により除去解除できるようにしていく。

<離乳食の進め方>

- ①食べ易い形で…子どもの状態にふさわしい形で与える。手づかみ食べを十分にし、噛める子どもに育てる。
- ②栄養と食品のバランスを考えて…準備期は別として、ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質類・野菜の三種類を合わせる。
アレルギーをおこしやすい卵については、中期食迄使用しない献立にする。
- ③薄味で…調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理する。

ク 安全管理

非常災害時の避難訓練

引き渡し訓練の実施（9月16日）

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任保育士	1名
副主任	1名
保育士	17名
調理員	4名（調理師を含む）
嘱託医	2名（非常勤）

- イ 健康管理
 - 健康診断 年 1 回 (8月)
 - 細菌検査 年 1 2 回
 - 給食、0歳児調乳担当のみ毎月 2 回

- ウ 職員会議
 - ・職員全体会議年間 10 回
 - ・保育会議年間 2 回
 - ・給食会議毎月 2 回

- エ 研修計画
 - ・職場研修年 2 回全職員
 - ・夏期研修各自の希望参加 (園半額負担)

2 特別保育事業

① 延長保育促進事業

仕事等により、保育時間内に迎えに来られない場合に必要に応じて保育支援します。

② 障がい児保育対策事業 (発達促進児保育事業)

障害をもつ乳幼児が健常児と日常的に関わることができると共に、その乳幼児の成長を保育支援します。

③ 地域活動推進事業

- ・世代間交流等事業

利用者の方や地域の方との交流を通じて、世代間のふれあい活動を行います。

- ・中高校生保育体験事業

中学生や高校生が、子どもや家庭の大切さを理解できるよう乳幼児とふれあう場作りを行います。

- ・食育等推進事業

離乳食懇談会、給食試食会を開催し、心の健全育成、思いやりのある行動がとれるよう支援します。

- ・実習生受け入れ
- ・小学校との交流
- ・地域行事に参加する

3 災害対策

- ア 避難訓練
 - 毎月 1 回

- イ 防災設備の点検委託
 - 年 2 回 (内、届け出 1 回)

- ウ 非常食糧の備蓄
 - (全児童数 + 全職員数) × 3 食 × (1 日 ~ 3 日) 分

4 保護者にむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

ア 保育参加

保育参加は1年中オープンとし、保護者の参加を受け入れる。運動会、クリスマスは参加と参観に充てます。

イ 保護者会

年2回予定し、各グループ毎に懇談します。

ウ お知らせ

- ・園だより毎月1回以上発行
- ・保健だより年4日に発行
- ・献立表（離乳食・幼児・アレルギー）毎月1回発行